

交付運用報告書

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド
アジア通貨コース

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2024年2月14日～2024年8月13日

第149期 決算日：2024年3月11日 第150期 決算日：2024年4月10日

第151期 決算日：2024年5月10日 第152期 決算日：2024年6月10日

第153期 決算日：2024年7月10日 第154期 決算日：2024年8月13日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、アジア通貨で為替取引を行うことにより、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第154期末 2024.8.13

基準価額 3,245円

純資産総額 3,103百万円

第149期～第154期
2024.2.14～2024.8.13

騰落率※ 2.9%

期中分配金合計 240円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

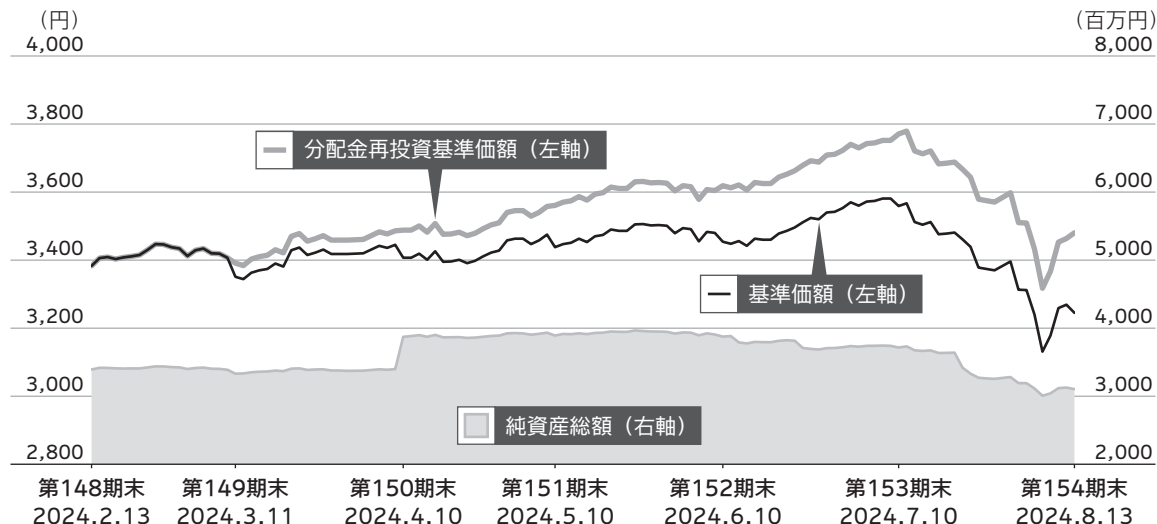
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

第149期首

基準価額
3,383円

騰落率

2.9%
(分配金再投資)
基準価額ベース)

第154期末

基準価額
3,245円
(期中分配金)
合計240円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2024年2月13日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」は、いずれも債券部分がプラスに寄与したことから、為替部分のマイナス寄与を補い、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

● 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンドおよびマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド  マザーファンド以外のファンド

● 1万口当たりの費用明細

項目	第149期～第154期 2024.2.14～2024.8.13		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	17円	0.503%	(a)信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率(年率)× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は3,454円です。
(投信会社)	(7)	(0.208)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(10)	(0.279)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.007	(b)その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.007)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	17	0.510	

注1. 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

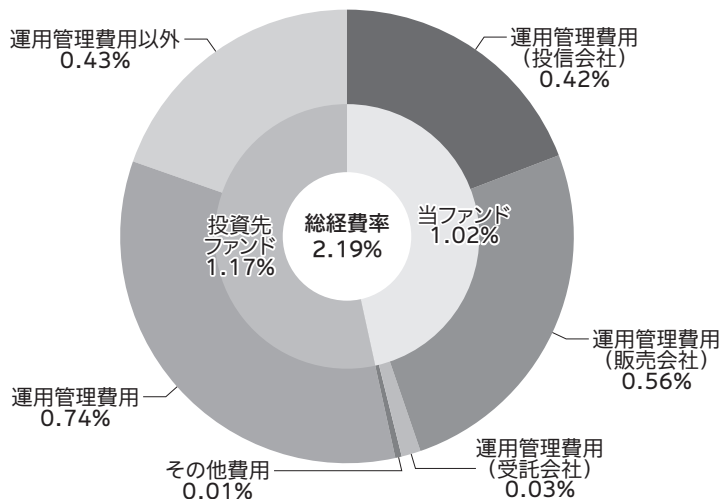
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.19%**です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.19
①当ファンドの費用の比率	1.02
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.43

注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

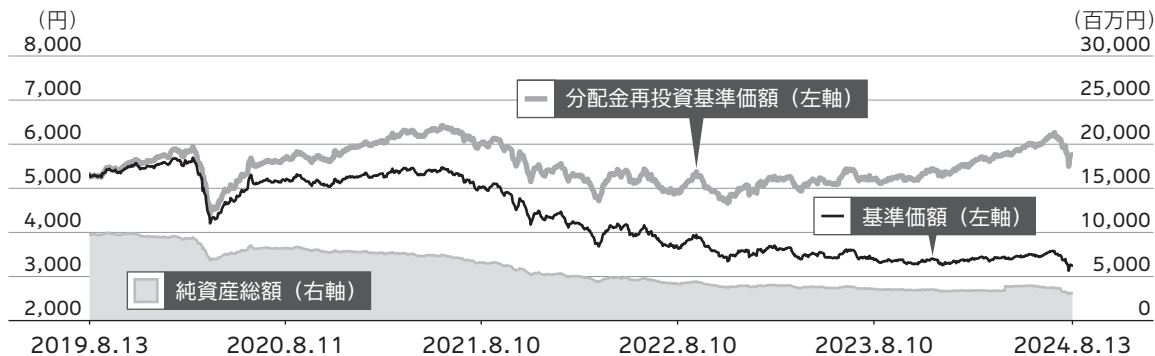
注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2019.8.13~2024.8.13



- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年8月13日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

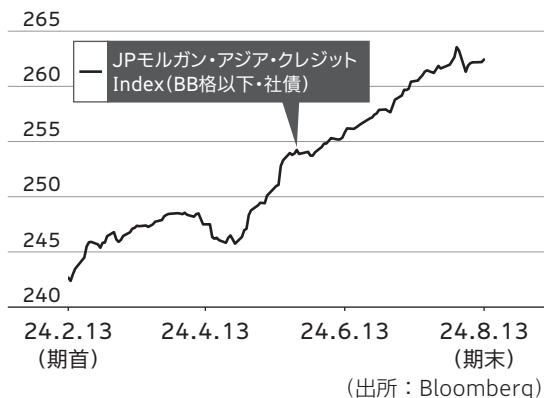
決算日	2019.8.13 決算日	2020.8.11 決算日	2021.8.10 決算日	2022.8.10 決算日	2023.8.10 決算日	2024.8.13 決算日
基準価額 (円)	5,310	5,166	5,006	3,651	3,375	3,245
期中分配金合計（税引前）(円)	—	480	480	480	480	480
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	6.7	6.2	△ 18.2	5.8	10.8
純資産総額 (百万円)	9,797	8,163	6,551	4,159	3,551	3,103

● 投資環境

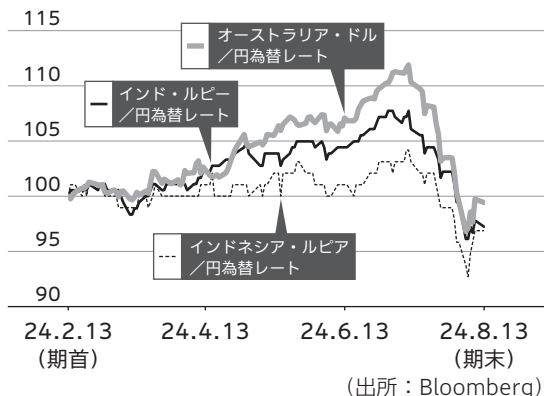
当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。前半は、市場におけるFRB（米連邦準備理事会）による早期の米国利下げへの期待の一方で、強い経済指標やFRB高官による利下げ先送り発言から米国金利は上昇傾向となりました。後半には、物価指標が落ち着きはじめたことで、2024年内の利下げを織り込む展開となり、米国金利は低下しました。また、アジア・ハイ・イールド債券への堅調な需要を背景に、クレジットスプレッドは縮小しました。当期前半における中国における経済対策が、同株式市場の反転や信用リスクの緩和に寄与し、アジア・ハイ・イールド債券市場を支えました。上記の金利低下とスプレッド縮小から、債券価格は上昇となりました。

ドル円相場は、2024年3月から7月にかけて、日銀の金融政策正常化観測が醸成される一方、米国の利下げ先送り観測が台頭する中、円安ドル高が進行しました。7月中旬以降、日銀の利上げ観測を織り込む流れとなり、8月上旬にかけて急速に円高が進行しました。アジア通貨についても、オーストラリアドル、インドネシアルピア、インドルピーとも7月中旬まで上昇しましたが、7月中旬以降の円高の中でいずれも下落しました。

市況の推移



為替レートの推移



注1. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2. 為替レートは期首を100として指数化しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を高位に維持しました。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

アジア・ハイ・イールド債券のクーポン収入などがプラスに寄与したことに加えて、クレジットスプレッドが縮小したことから、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピア、インドルピーが、対円で下落したことから、為替部分はマイナス寄与となりました。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

アジア・ハイ・イールド債券のクーポン収入などがプラスに寄与したことに加えて、クレジットスプレッドが縮小したことから、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピア、インドルピーが、対円で下落したことから、為替部分はマイナス寄与となりました。

マネープールマザーファンド

2024年3月までは短期金融市場において国債の利回りがマイナスであったため、比較的マイナス幅が小さいコール・ローン運用を中心に行いました。4月以降は、コール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第149期 2024.2.14 } 2024.3.11	第150期 2024.3.12 } 2024.4.10	第151期 2024.4.11 } 2024.5.10	第152期 2024.5.11 } 2024.6.10	第153期 2024.6.11 } 2024.7.10	第154期 2024.7.11 } 2024.8.13
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	1.180%	1.160%	1.150%	1.145%	1.111%	1.218%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	7,007	7,021	7,033	7,046	7,061	7,074

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

決算期毎にインカム収入[※]を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

中国における経済政策スタンスは漸進的な緩和姿勢を維持するものと期待され、また、中国を除くアジア全体のマクロ経済と企業のファンダメンタルズは、底堅く推移すると予想しています。米国金利は、パウエルFRB議長が、インフレ率の低下が続けば2024年9月にも利下げを行う用意があると示唆する一方、11月の米大統領選の影響など年後半にかけて一定の慎重さがが必要です。しかしながら、相対的に魅力的な利回りを求める投資家需要が下支え要因になるものと考えられ、市場の動向を踏まえながらポートフォリオ運営を継続する方針です。





ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

今後2024年の年末までに期待されている米国利下げに関心が高まる中、米大統領選の結果そのものよりも、2025年にかけてさらなる利下げを正当化できるほど米国経済が軟化しているかどうかの見極めに注意を払っています。株式市場の調整局面があったものの、全体としては堅調であり、経済データの弱さも短期的なものならば、債券市場を慎重にみていく必要も生じます。グローバル市場のボラティリティが高まる一方で、アジアのクレジット市場における需要は堅調であり、こうした中、相対的に妙味のある銘柄に入れ替えを行うなど、安定したポートフォリオ運営を行う方針です。

マネープールマザーファンド

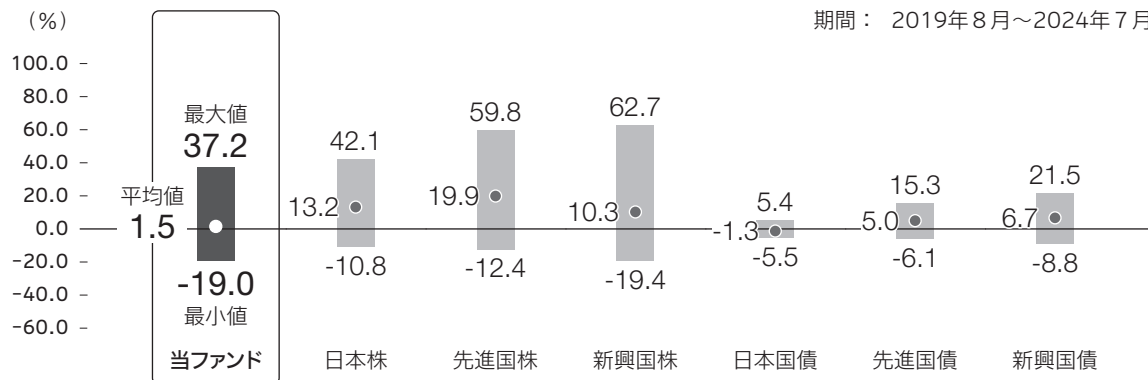
安全性、流動性の高いコール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行う方針です。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2011年9月30日から2026年8月10日まで
運用方針	インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。
主要投資対象	 りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース 投資信託証券
	 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4） アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	 ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4） アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	 マネープールマザーファンド わが国の公社債等
運用方法	① 主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ② アジア通貨で為替取引を行います。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

期間： 2019年8月～2024年7月



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は18ページをご参照ください。▶

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

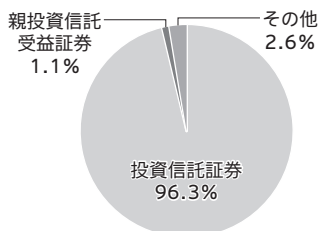
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

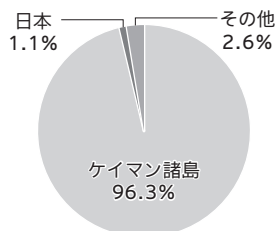
	第154期末 2024.8.13
NikkoAM Asia Investment Series- NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	61.8%
Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 4 (AC)	34.5%
マネープールマザーファンド	1.1%

注. 比率は第154期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第154期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第149期末 2024.3.11	第150期末 2024.4.10	第151期末 2024.5.10	第152期末 2024.6.10	第153期末 2024.7.10	第154期末 2024.8.13
純資産総額	3,330,759,947円	3,872,687,547円	3,890,819,606円	3,875,552,404円	3,714,913,518円	3,103,803,182円
受益権総口数	9,939,733,506口	11,367,791,376口	11,315,479,963口	11,220,988,524口	10,437,635,642口	9,565,037,721口
1万口当たり 基準価額	3,351円	3,407円	3,438円	3,454円	3,559円	3,245円

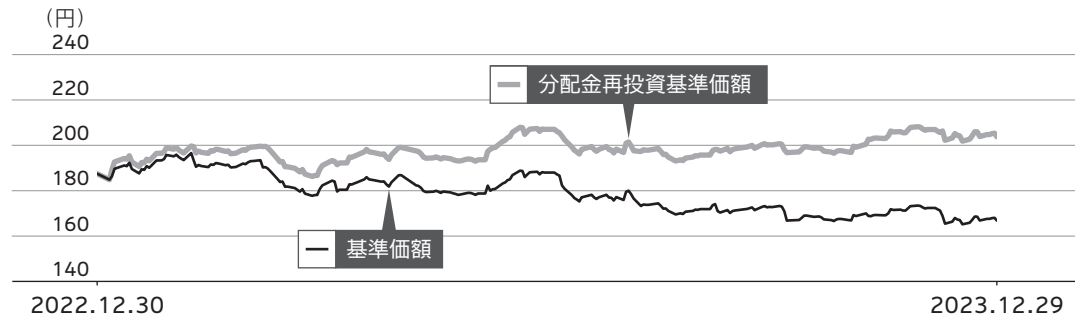
※ 当作成期間（第149期～第154期）中における追加設定元本額は1,777,169,807円、同解約元本額は2,239,943,667円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

基準価額の推移（クラス4）



- 基準価額は、りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コースの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- 分配金再投資基準価額は、2022年12月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

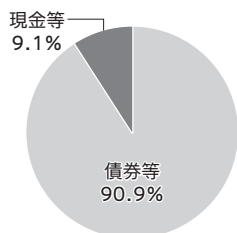
1万口当たりの費用明細

当該期間（2023年1月1日～2023年12月31日）の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

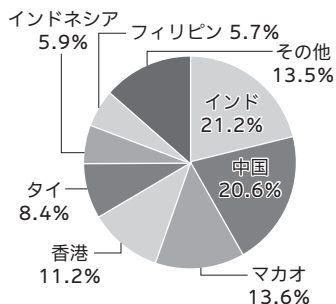
組入上位10銘柄

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	比率
1 KRUNG THAI BANK PUBLIC COMPANY LIMITED 4.4% PERP	タイ	4.400%	永久債	3.8%
2 GREENKO SOLAR (MAURITIUS) LTD. 5.55% 29-JAN-2025	インド	5.550%	2025/1/29	2.7%
3 MGM CHINA HOLDINGS LIMITED 4.75% 01-FEB-2027	マカオ	4.750%	2027/2/1	2.5%
4 CELESTIAL MILES LTD. 5.75% PERP	香港	5.750%	永久債	2.4%
5 INDIA CLEAN ENERGY HOLDINGS 4.5% 18-APR-2027	インド	4.500%	2027/4/18	2.4%
6 NETWORK I21 (SINGAPORE) PTE LTD. 5.65% PERP	インド	5.650%	永久債	2.4%
7 TMBTHANACHART BANK PUBLIC COMPANY LIMITED 4.9% PERP	タイ	4.900%	永久債	2.3%
8 MELCO RESORTS FINANCE LTD. 5.625% 17-JUL-2027	香港	5.625%	2027/7/17	2.3%
9 CA MAGNUM HOLDINGS 5.375% 31-OCT-2026	インド	5.375%	2026/10/31	2.2%
10 PT BANK NEGARA INDONESIA (PERSERO) TBK 4.3% PERP	インドネシア	4.300%	永久債	2.1%
組入銘柄数		64銘柄		

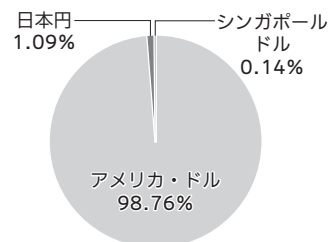
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2023年12月31日）現在のものです。

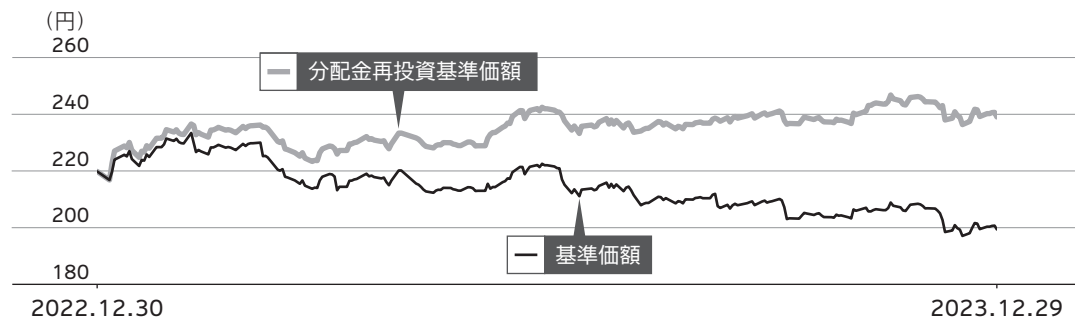
注2. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分のその他には、現金等が含まれます。

注3. 日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを掲載しています。



ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

基準価額の推移 (クラス4)



- 基準価額は、りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コースの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- 分配金再投資基準価額は、2022年12月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

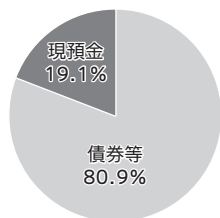
1万口当たりの費用明細

当該期間（2023年1月1日～2023年12月31日）の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

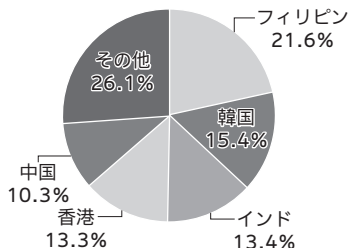
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	比率
1	NETWORK I2I LTD 5.65% DUE 31/12/2199	インド	5.650%	永久債	6.5%
2	SAN MIGUEL CORP 5.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	5.500%	永久債	6.2%
3	RIZAL COMMERCIAL BANKING 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	4.7%
4	YANLORD LAND HK CO LTD 6.8% DUE 27/02/2024	中国	6.800%	2024/2/27	3.8%
5	SMC GLOBAL POWER HLDGS 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	3.5%
6	DAH SING BANK LTD 5% DUE 15/01/2029	香港	5.000%	2029/1/15	3.3%
7	WOORI BANK 4.75% DUE 30/04/2024	韓国	4.750%	2024/4/30	3.3%
8	VLL INTERNATIONAL INC 7.25% DUE 20/07/2027	フィリピン	7.250%	2027/7/20	3.2%
9	MIRAE ASSET SECURITIES 1.375% DUE 07/07/2024	韓国	1.375%	2024/7/7	3.2%
10	SHANGHAI COMMERCIAL BANK 6.375% DUE 28/02/2033	香港	6.375%	2033/2/28	3.0%
組入銘柄数			45銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2023年12月31日）現在のものです。

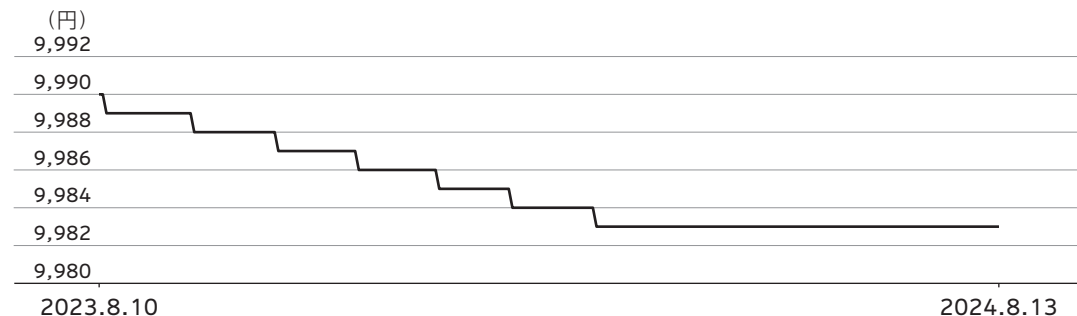
注2. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分のその他には、現金等が含まれます。

注3. ライオングローバルインベスターズが作成したデータを掲載しています。



マネープールマザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

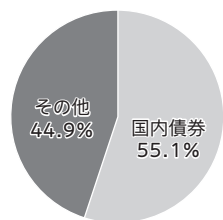
項目	2023.8.11~2024.8.13	
	金額	比率
その他費用	5円	0.053%
(その他)	(5)	(0.053)
合計	5	0.053

期中の平均基準価額は9,984円です。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第1176回国庫短期証券	国債証券	日本円	日本	27.6%
2 第1237回国庫短期証券	国債証券	日本円	日本	27.6%
3 -	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-
組入銘柄数		2銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年8月13日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース 検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0921/price.html>

SOMPOアセットマネジメント | ENGLISH | SOMPO ホールディングス

文字サイズ 大 中 小

ホーム Home | ファンド情報 Fund Information | マーケット・ファンドレポート Market & Fund Report | 当社の資産運用 Our Business | 会社情報 About Us

HOME > ファンド情報 > りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

追加投資/海外/債券

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

日本経済新聞掲載名: アジハアジア

コースを選択してください

交	交付目論見書 (2024.05.11)	運交	交付運用報告書 (2024.02.13)	休	海外休業日 (申込不可日) 2024年
請	請求目論見書 (2024.05.11)	運全	運用報告書 (全体版) (2024.02.13)	i	分配金のお知らせ (2024.08.13)
		月	最新月次レポート (2024.07.31)		

● 交付運用報告書・運用報告書 (全体版) バックナンバー

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

i

分配金のお知らせ

決算期の分配金の推移についてお知らせいたします。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。